

事務事業評価調書

事務事業名	総合的自転車対策事業(交通対策費)				
担当部名	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	大竹 哲男

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成20年度	改正 内容	放置自転車等の処分方法について、放置自転車等措置規程内にある公共団体への無償譲渡の部分を削除。放置自転車等の優先処分(売却)に関する規程を制定。放置自転車等管理システム情報セキュリティ実施手順の変更。											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律等													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民等、駅周辺での自転車等利用者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	駅周辺における自転車等駐車場の確保及び自転車等の放置防止												
(7) 事業概要	<p>駅周辺の放置自転車等(原付、自動二輪を含む)ゼロを目的に、駅周辺の自転車等放置禁止区域内での放置防止の啓発・指導及び放置自転車等の移送(撤去)を実施する。あわせて、駅周辺で自転車駐車場の運営を行う。</p> <p>移送自転車等は、「放置自転車等管理システム」により適切な保管・返還・処分を行う。システムの活用により、自転車コールセンターでの返還の案内、問い合わせ対応を行う。また、放置自転車対策として、レンタサイクル事業を行う。</p> <p>交通対策費は、自転車等放置防止指導、自転車等移送、自転車等保管・返還・処分、レンタサイクルの業務を所管する。</p>													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	02	目	05	大事業	05	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		131,932	129,040	137,219	132,688	130,996							
	人件費	職員数	人	2.50	2.00	1.50	1.50							
		総額(B)	千円	20,880	16,078	12,255	11,850							
	総事業費(A+B)		152,812	145,118	149,474	144,538	143,074							
	特定財源(C)		48,126	52,084	49,096	22,800	48,806							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	48,126	52,084	49,096	22,800	48,806							
	市負担(D)		104,686	93,034	100,378	121,738	94,268							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		104,686	93,034	100,378	121,738	94,268								
財源計(C+D)		152,812	145,118	149,474	144,538	143,074								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(公社)吹田市シルバー人材センター										
			②	(特非)吹田・江坂ビジョン21										
			③											
	主な委託内容		自転車等保管・返還・処分業務等											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	自転車等移送実施日数	目標値	(単位:日)	269.00	270.00	265.00
			実績値	(単位:日)	269.00	270.00		
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	自転車等移送業務実施予定日数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		539.47	536.83	
				一般財源(単位:千円)		345.85	452.38	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容	放置自転車等の撤去台数	目標値	(単位:台)	31,753.00	31,753.00
	実績値			(単位:台)	19,097.00	22,937.00		
	達成度(%)		60.1	72.2				
	目標値の積算方法	過去最高年間撤去台数31,753台(12年度)を基準に「放置台数0=達成度100%とし、31,753台減少を目標とする	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		7.60	6.32	
				一般財源(単位:千円)		4.87	5.33	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	平成20年度から自転車駐車場管理業務を含め、一元化して総合的自転車対策事業を実施している。自転車等放置防止指導など、放置自転車等をなくすことは、都市環境の悪化を防止し、災害時の防災活動の確保や歩行者の安全及び通行機能の保持を図ることにつながるため、今後も必要な事業である。						

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	総合的自転車対策事業(交通対策費)	事業区分	その他
事務事業番号	00701				

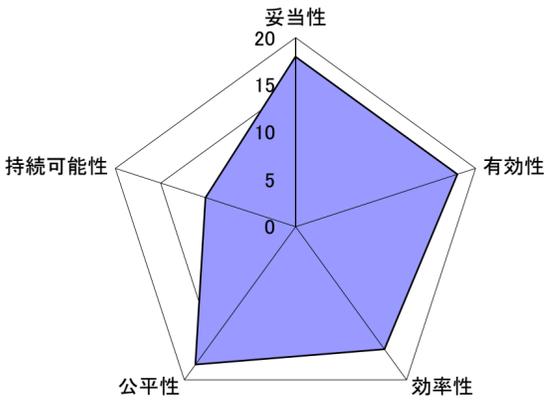
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務交通室	事務事業番号	00701
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>自転車等放置防止対策として、放置防止指導員による啓発や移送(撤去)業務を行っており、駅周辺の放置自転車等は減少している。平成20年度からは、自転車駐車場管理業務を含め一元化して委託することで、業務効率の向上及び事業費の削減を図っている。また、放置自転車等管理システムの導入により、保管自転車等の適切な管理及びスムーズな問い合わせ対応等を行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	総合的自転車対策事業(自転車駐車場費)				
担当部名	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	大竹 哲男

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成20年度	改正内容	吹田市自転車駐車場条例改正(吹田市自転車等の放置防止に関する条例の一部改正に伴い、無断使用に対する措置についての文言変更)											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律、吹田市自転車駐車場条例等													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	40							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民											
	結果(どのような効果が得られるのか)	駅周辺における自転車等駐車場の確保及び自転車等の放置防止												
(7) 事業概要	<p>駅周辺の放置自転車等(原付、自動二輪を含む)ゼロを目的に、駅周辺の自転車等放置禁止区域内で放置防止の啓発・指導及び放置自転車等の移送(撤去)を実施する。あわせて駅周辺で自転車駐車場の運営を行う。</p> <p>移送自転車等は、「放置自転車等管理システム」により適切な保管・返還・処分を行う。システムの活用により、自転車コールセンターでの返還の案内、問合せ対応を行う。また、放置自転車対策として、レンタサイクル事業を行う。</p> <p>自転車駐車場費は、自転車駐車場及びコールセンターの運営を所管する。</p>													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	08	項	05	目	06	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		400,994	397,099	456,279	454,617	428,859							
	人件費	職員数	人	2.40	2.00	1.50	1.50	1.50						
		総額(B)	千円	20,045	16,078	12,255	11,850	12,078						
	総事業費(A+B)		421,039	413,177	468,534	466,467	440,937							
	特定財源(C)		400,994	397,099	395,110	419,771	397,404							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		400,994	397,099	395,110	419,771	397,404						
	市負担(D)		20,045	16,078	73,424	46,696	43,533							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		20,045	16,078	73,424	46,696	43,533								
財源計(C+D)		421,039	413,177	468,534	466,467	440,937								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(公社)吹田市シルバー人材センター										
			②											
			③											
	主な委託内容		自転車駐車場管理業務、コールセンター業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	自転車駐車場の利用台数	目標値	(単位:台)	19,479.00	19,489.00	19,489.00
			実績値	(単位:台)	15,791.00	16,352.00		
		達成度(%)				81.1	83.9	
	目標値の積算方法	自転車駐車場の収容台数を目標値とする	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		26.17	28.55	
				一般財源(単位:千円)		1.02	2.88	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	0.00		
達成度(%)					0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容	放置禁止区域内放置台数	目標値	(単位:台)	4,111.00	4,111.00
	実績値			(単位:台)	3,692.00	3,710.00		
	達成度(%)				89.8	90.2		
	目標値の積算方法	平成16年度放置台数調査時の台数である4,111台を基準に、4,111台減少させることを目標にする。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		111.91	125.84	
				一般財源(単位:千円)		4.35	12.70	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	0.00		
達成度(%)					0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		JR岸辺駅の吹田操車場跡地整備など、駅周辺の再整備が行われるなか、自転車を取り巻く状況を踏まえ、今後も自転車利用は高まると考えられる。 一方で、民間駐輪場の整備が遅れている現状では、現在設置している自転車駐車場の管理を継続していく必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	総合的自転車対策事業(自転車駐車場費)	事業区分	その他
事務事業番号	00702				

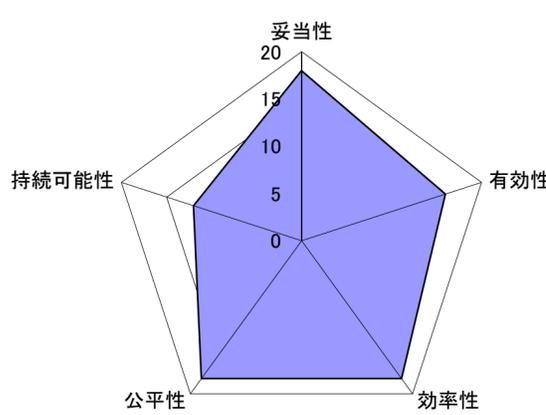
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
評価点合計 (100点満点)	82	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務交通室	事務事業番号	00702
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>自転車は、自動車と比較して移動距離当たりのエネルギーが少なく、有害な排出ガスが発生しない。健康増進効果への期待や、大気汚染や地球温暖化問題が叫ばれる現在、環境負荷の少ない移動手段として、自転車が見直されている。また、維持にかかる費用が低く、使用台数は増加している。</p> <p>一方で、歩道を通行できることから、特に自動車や歩行者など他の交通も集中する駅周辺に放置自転車が集中し、交通環境を悪化させている。特に、吹田市は北摂他市に比べて公共交通機関の駅数が多く、放置自転車の影響も大きい。</p> <p>駅周辺を自転車等放置禁止区域に指定し、放置自転車等を撤去すると同時に、市営自転車駐車を運営することにより、自転車を放置してもよいというふるまいを変え、良好な駅周辺の交通環境を創造することにより、上位施策に寄与するところが非常に大きい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

国(国土交通省)から、府を通じ、たびたび自転車駐車場における自動二輪車(特に125ccまで)の受入れを積極的に進めるよう通知されている。しかし、自転車駐車場は、自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律により整備しているが、自動二輪車の駐車場は駐車場法に規定されている。そのため、既設市営自転車駐車場へ自動二輪車を受入れる場合、消防関係法令により大規模な消防設備の設置が義務付けられているため、直ちに現在の需要に見合うよう整備することは、非常に困難な状況である。

事務事業評価調書

事務事業名	千里ニュータウンプラザ施設管理事業				
担当部署	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	大竹 哲男

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成24年度	改正内容	なし					
(2) 直近の改正	なし							
(3) 根拠法令等	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律、吹田市自転車駐車場条例等							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章 06	安全で魅力的なまちづくり	節 02	細節 40				
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
	範囲等	市民						
	目標 (どういう状態にしたいのか)	駅周辺における自転車等駐車場の確保及び自転車等の放置防止						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	駅周辺の良好な交通環境の確保						
(7) 事業概要	<p>駅周辺の放置自転車等(原付、自動二輪を含む)ゼロを目的に、駅周辺の自転車等放置禁止区域内で放置防止の啓発・指導及び放置自転車等の移送(撤去)を実施する。あわせて駅周辺で自転車駐車場の運営を行う。</p> <p>移送自転車等は、「放置自転車等管理システム」により適切な保管・返還・処分を行う。同システムの活用により、自転車コールセンターでの返還の案内、問合せ対応を行う。また、放置自転車対策として、レンタサイクル事業を行う。</p> <p>自転車駐車場費は、自転車駐車場及びコールセンターの運営を所管し、そのうち、本事業では、阪急南千里駅前西第2自転車駐車場が設置されている千里ニュータウンプラザの維持管理経費のみを所管する。</p>							
(8) H28事業別予算コード	会計 01	款 08	項 05	目 06	大 01	中 01	小 02	
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		39,804	39,190	39,755	39,490	38,683	
	人件費	職員数	0.10	0.50	0.25	0.25	0.25	
		人						
	総額(B)		836	4,020	2,043	1,976	2,013	
	総事業費(A+B)		40,640	43,210	41,798	41,466	40,696	
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0
		国		0	0	0	0	0
		府		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
	(内訳)	市負担(D)		40,640	43,210	41,798	41,466	40,696
		地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		40,640	43,210	41,798	41,466	40,696		
財源計(C+D)		40,640	43,210	41,798	41,466	40,696		
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 吹田南千里PFI株式会社					
			②					
			③					
	主な委託内容		千里ニュータウンプラザの設計建設維持管理					
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
②								
③								
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 阪急南千里駅前西第2自転車駐車場の利用台数	目標値	(単位:台)	98.00	98.00	98.00
			実績値	(単位:台)	71.00	62.00	/
		達成度(%)		72.4	63.3		
	目標値の積算方法 自転車駐車場の収容台数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	608.59	669.89		
			一般財源(単位:千円)	608.59	669.89		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 阪急南千里駅周辺放置禁止区域内原動機付自転車放置台数	目標値	(単位:台)	77.00	77.00
	実績値			(単位:台)	75.00	75.00	/
	達成度(%)		97.4	97.4			
	目標値の積算方法 平成16年度放置台数調査時の実績台数77台を基準に、「放置台数0=達成度100%」とし、77台減少させることを目標とする	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	576.13	553.77		
			一般財源(単位:千円)	576.13	553.77		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	① 活動内容				目標		
	② 成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	原動機付自転車を取巻く状況をふまえ、今後も利用は横ばいになると考えられる。 一方で、民間駐輪場の整備が遅れている現状では、現在設置している自転車駐車場の管理を継続していく必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	千里ニュータウンプラザ管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00703				

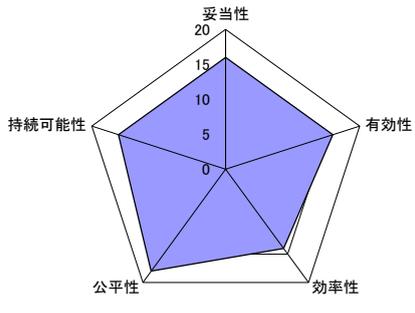
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 c. 単位当たりコストは高く、見直す必要がある。(1点)	1	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16			
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務交通室	事務事業番号	00703
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>原動機付自転車は、自動車と比較して小型であり、移動距離当たりのエネルギーが少なく、有害な排出ガスの量も少ない。 大気汚染や地球温暖化問題が叫ばれる現在、また、維持にかかる費用が比較的安く、使用台数がほぼ横ばい状態にある。 一方、小型であることから、特に自動車や歩行者など他の交通も集中する駅周辺に放置が集中し、交通環境を悪化させている。特に、吹田市は北摂他市に比べて公共交通機関の駅数が多く、その影響も大きい。 駅周辺を自転車等放置禁止区域に指定し、放置原動機付自転車を撤去すると同時に、市営自転車駐車場の運営により、自転車を放置してもよいというふるまいを変え、良好な駅周辺の交通環境を創造することにより、上位施策に寄与するところが非常に大きい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	工事積算システム事業				
担当部名	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	大竹 哲男

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成14年度	改正内容	なし					
(2) 直近の改正	なし							
(3) 根拠法令等	なし							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章 06	安全で魅力的なまちづくり	節 02	細節 00				
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	道路等の設計・積算・作図					
	結果 (どのような効果を得られるのか)	数量計算書、設計書、設計図等の作成及び施工管理の効率化						
	積算データの一元化により、積算業務上の対応範囲が大幅に増加することや、処理速度・能力が上がることで省力化が進み、歩掛けの変更や設計変更等に機敏に対応できる							
(7) 事業概要	「新土木工事積算体系」に基づく積算システムの構築とネットワーク化により、膨大な積算・設計情報を共有化し、効率的な設計・積算業務を進める							
(8) H28事業別予算コード	会計 01	款 08	項 01	目 01	大事業 02	中事業 01	小事業 02	
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		1,502	1,499	3,003	2,647	2,749	
	人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.25
		総額(B)	千円	4,176	4,020	4,085	3,950	2,013
	総事業費(A+B)		5,678	5,519	7,088	6,597	4,762	
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0
		国		0	0	0	0	0
		府		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
	(内訳)	市負担(D)		5,678	5,519	7,088	6,597	4,762
		地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
		一般財源		5,678	5,519	7,088	6,597	4,762
財源計(C+D)		5,678	5,519	7,088	6,597	4,762		
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
			②					
			③					
	主な委託内容							
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
②								
③								
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	土木工事積算システムのリース契約						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(3) が困難な場合	①	活動内容	「新土木工事積算体系」に基づく積算システムの構築とネットワーク化により、膨大な積算・設計情報を共有化し、効率的な設計・積算業務を進める		目標	数量計算書、設計書、設計図等の設計図書作成及び施工管理の効率化		
	②	成果内容	数量計算書、設計書、設計図等の設計図書作成及び施工管理の効率化		達成状況	積算データの一元化により、積算業務上の対応範囲が大幅に増加し、処理速度・能力が上がり、設計等の変更に機敏に対応できる。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		本システムは、各業務の基盤となるものであり、本システムを抜きに設計等を行うことは考えられない。今後とも効率化やコストダウンの方策を考えつつ、事業を継続する必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	工事積算システム事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01094				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務交通室	事務事業番号	01094
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays scores for five dimensions: 妥当性 (Justification), 有効性 (Effectiveness), 効率性 (Efficiency), 公平性 (Fairness), and 持続可能性 (Sustainability). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 15, 有効性: 18, 効率性: 18, 公平性: 10, 持続可能性: 10.</p>		
(3)現状分析	<p>積算データの一元化により、積算業務上の対応範囲が大幅に増加し、処理速度・能力が高まり、省力化が進んだ。そのため、歩掛けの変更や設計変更等に機敏に対応できている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	南千里庁舎管理事業				
担当部名	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	大竹 哲男

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和57年度	改正内容	なし				
(2) 直近の改正	なし						
(3) 根拠法令等	吹田市事務分掌規則						
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章 06	安全で魅力的なまちづくり	節 02	細節 50			
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他		
	範囲等	南千里庁舎					
	目標 (どういう状態にしたいのか)	南千里庁舎の施設・整備等を良好な状態に維持管理する。					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	南千里庁舎で業務する各室が円滑に業務を実施できる。					
(7) 事業概要	南千里庁舎の施設・設備の維持管理業務						
(8) H28事業別 予算コード	会計 01	款 08	項 01	目 01	大事業 03	中事業 01	小事業 01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		19,232	18,960	32,176	18,498	20,350
	人件費	職員数	1.00	1.75	2.00	2.00	2.00
		人					
	総額(B)		8,352	14,069	16,340	15,800	16,104
	総事業費(A+B)		27,584	33,029	48,516	34,298	36,454
	特定財源(C)		40	38	23	23	23
	(内訳)	国	0	0	0	0	0
		府	0	0	0	0	0
		その他	40	38	23	23	23
	市負担(D)		27,544	32,991	48,493	34,275	36,431
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	
一般財源		27,544	32,991	48,493	34,275	36,431	
財源計(C+D)		27,584	33,029	48,516	34,298	36,454	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① (株)イズミ				
			② (株)ビルマスター				
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	③ (株)グリーン空調サービス				
			①				
②							
<input type="checkbox"/> その他	内容	③					
		南千里庁舎警備・清掃、空調設備点検業務外					

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	南千里庁舎の床面積	目標値	(単位:㎡)	3,474.00	3,474.00	0.00
			実績値	(単位:㎡)	3,474.00	3,474.00		
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	目標値の設定が困難であるため、延べ床面積と庁舎として使用できる面積の対比を使用した。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		9.51	10.03	
				一般財源(単位:千円)		9.50	10.02	
			達成度(%)		0.0	0.0		
②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00		
		実績値	(単位:)	0.00	0.00			
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0		
②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00		
		実績値	(単位:)	0.00	0.00			
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0		
(3) が困難な場合	①	活動内容		目標				
	②	成果内容	南千里庁舎の施設・設備の維持管理	達成状況	南千里庁舎で業務を行う各室が、円滑に業務を行っている			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		道路・公園の施設整備、維持管理を行う拠点施設であり、また、非常時には防災活動の実働を担う拠点施設として引き続き良好に維持管理をしていくために、現状どおり事業を継続させる必要がある。そのうえでさらに、老朽化に伴い緊急に補修が必要な箇所については、改修工事を実施する必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	南千里庁舎管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01095				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	10	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	67	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	総務交通室	事務事業番号	01095
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	迷惑駐車対策事業				
担当部名	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	大竹 哲男

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成6年度	改正 内容	違法駐車等防止の指導啓発業務委託から防止啓発活動の実施											
(2) 直近の改正	平成22年度													
(3) 根拠法令等	吹田市違法駐車等の防止に関する条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	警察による駐車車両の取締りが困難な道路上において、路上駐車等の発生により市民生活に影響を及ぼす可能性のある場所または当該車両												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	違法駐車等を未然に防止し、道路の効用の保持及び道路交通の安全と円滑化を確保することにより、安全で快適な交通環境の改善を図る												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	渋滞の緩和や道路横断時の交通事故防止、緊急車両の円滑な通行を確保することで、市民の安全で快適な生活環境の維持と向上が期待できる。												
(7) 事業概要	平成22年1月から吹田警察署管内において民間駐車監視員制度が導入され、重点地域及び重点路線での放置車両の確認と標章の取付けを行う活動によって、違法駐車等の未然防止に絶大な効果をあげています。しかしながら重点地域以外での取締り困難な道路においては、依然として迷惑駐車等の苦情も多く、市として地域の方々や吹田警察署と協力し積極的に迷惑駐車防止チラシ等の配布活動、ノボリ旗・防止看板等の設置による迷惑駐車防止のための啓発事業に市民と協働して取り組んでいく。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	02	目	05	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		396	423	356	356	383							
	人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50						
		総額(B)	千円	4,176	4,020	4,085	3,950	4,026						
	総事業費(A+B)		4,572	4,443	4,441	4,306	4,409							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		4,572	4,443	4,441	4,306	4,409							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		4,572	4,443	4,441	4,306	4,409								
財源計(C+D)		4,572	4,443	4,441	4,306	4,409								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) の3が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
①	活動内容	違法駐車等の防止啓発活動を地域、市民団体等と連携を図りながら警察と協力し、違法駐車等防止対策やノボリ及び、看板設置などを行う。			目標	違法駐車等を防止することにより、道路施設において、安全で快適な交通環境の整備	
	②	成果内容	ノボリ、看板・サインキューブの作成設置、啓発ビラの配布			達成状況	ノボリや看板・サインキューブの設置及び啓発ビラの配布による違法駐車等の減少
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		本来、駐車違反の取り締まりは警察の所管であるが、一方で違法駐車防止に関し広く市民、事業者その他関係者の協力を求めるため、広報に関する施策その他必要な施策を策定し、及び実施することは行政の責務であると条例で定められている。 このため違法駐車防止の啓発部分に関しては、引き続き市が担ってゆく必要があり、今後も継続して事業を行う必要性がある。				

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	迷惑駐車対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	01096				

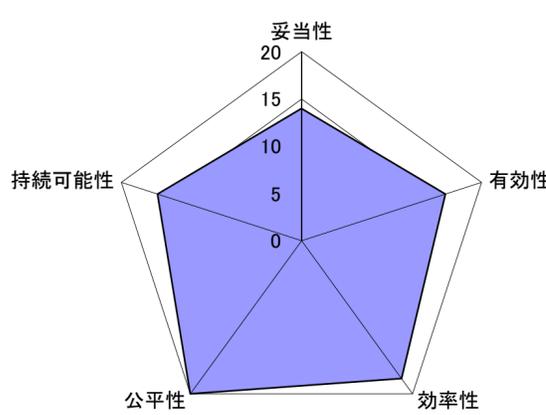
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	総務交通室	事務事業番号	01096
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>当該事業は、主に啓発看板の設置や啓発ビラの配布による、違法駐車や迷惑駐車等の防止に係る啓発である。市民ニーズも高く、交通事故の原因や市民生活の支障を及ぼす恐れのある違法駐車等の防止について、交通管理者と連携した活動を図る目的からも、公平性は高く積極的に取組む必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	地域公共交通活性化事業				
担当部署	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	大竹 哲男

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成21年度	改正内容	なし					
(2) 直近の改正	なし							
(3) 根拠法令等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章 06	安全で魅力的なまちづくり	節 02	細節 40				
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市全域					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	公共交通の利便性の向上 公共交通利用者の増加、自動車に過度に依存しない交通環境						
(7) 事業概要	市内の公共交通事業者、学識経験者、市民等で「吹田市地域公共交通活性化協議会」を組織し、本協議会において公共交通の利便性向上や利用促進のため、平成21年度に「吹田市地域公共交通総合連携計画」を策定した。平成22年度からは本計画に位置づけた事業の実施や、実施に向けた調整を行っており、平成24年度には各事業の進め方についての方針が概ねまとまったため、協議会は解散したが、引き続き各事業者が事業を推進している。平成28年度は吹田市公共交通マップ2017の作成を行った。							
(8) H28事業別予算コード	会計 01	款 08	項 02	目 05	大事業 03	中事業 01	小事業 01	
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		556	518	556	481	556	
	人件費	職員数	1.50	1.25	0.50	0.50	0.75	
		総額(B)	12,528	10,049	4,085	3,950	6,039	
	総事業費(A+B)		13,084	10,567	4,641	4,431	6,595	
	(内訳)	特定財源(C)		17	60	35	77	37
		国		0	0	0	0	0
		府		0	0	0	0	0
	その他		17	60	35	77	37	
	(内訳)	市負担(D)		13,067	10,507	4,606	4,354	6,558
		地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		13,067	10,507	4,606	4,354	6,558		
財源計(C+D)		13,084	10,567	4,641	4,431	6,595		
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
			②					
			③					
	主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目		項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が指標で難し 場合を示す		①	活動内容	吹田市地域公共交通総合連携計画に位置づけた事業の実施		目標	公共交通の利便性の向上 公共交通の利用促進
	②			成果内容	吹田市公共交通マップの作成		達成状況
		目標値の積算方法	単位当たりコスト		総事業費(単位:千円)	0.00	0.00
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		公共交通を持続的に確保していくためには、公共交通の利用促進が不可欠であり、そのためには公共交通利用者が安心して快適に利用できるような公共交通マップ等わかりやすい情報の提供等が必要である。同時に、公共交通の必要性について、利用者自身にも認識してもらう必要がある。また、公共交通マップの作成にかかる費用については削減に向けた更なる取り組みが必要である。				

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	地域公共交通活性化事業	事業区分	その他
事務事業番号	01097				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務交通室	事務事業番号	01097
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (Justification), 有効性 (Effectiveness), 効率性 (Efficiency), 公平性 (Fairness), and 持続可能性 (Sustainability). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 18, 有効性: 15, 効率性: 12, 公平性: 8, 持続可能性: 10.</p>		
(3)現状分析	<p>公共交通マップを利用することによる電車、バスの利用促進について、効果がみられることから、公共交通マップの作成については、公共交通の利用促進のための情報提供の充実という目標を達成するために適切な事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	コミュニティバス運行事業				
担当部名	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	大竹 哲男

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成15年	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	なし													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	40							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	公共交通不便地域											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	公共交通不便地域の緩和、高齢者等の移動手段の確保、主要施設へのアクセス手段の確保												
(7) 事業概要	市内における公共交通不便地域である千里丘地区において、平成18年12月から試験運行を実施し、平成23年4月から本格運行へ移行した。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	02	目	05	大事業	03	中事業	02	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		36,736	33,601	33,808	30,223	33,466							
	人件費	職員数	人	1.50	1.25	0.50	0.50	0.75						
		総額(B)	千円	12,528	10,049	4,085	3,950	6,039						
	総事業費(A+B)		49,264	43,650	37,893	34,173	39,505							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		49,264	43,650	37,893	34,173	39,505							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		49,264	43,650	37,893	34,173	39,505								
財源計(C+D)		49,264	43,650	37,893	34,173	39,505								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	阪急バス株式会社											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	市内の公共交通不便地域の緩和、高齢者等の移動手段の確保、主要施設へのアクセス手段の確保等を図るために、本市との協定に基づきコミュニティバスを運行する事業者に対し、補助金を交付する。		目標	公共交通不便地域の緩和、高齢者等の移動手段の確保、主要施設へのアクセス手段の確保	
	②	成果内容	平成18年12月から現在に至るまでの運行期間における利用者数は上昇しており、地域のニーズも高い。		達成状況	利用者は年々増加している。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		平成18年12月の試験運行開始から現在に至るまでの運行期間における利用者数、収支率共に概ね上昇していることから、地域のニーズの高さが確認されており、今後も事業を継続していくことが必要。ただし、持続可能性の点からも、引き続き補助金交付額の削減に向けた運行経費削減、運行収入の増加に対する取組を事業者と共に進めていくことや更なる利用促進に向けた啓発に取り組んでいくことが必要である。				

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	コミュニティバス運行事業	事業区分	その他
事務事業番号	01098				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	84	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務交通室	事務事業番号	01098
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>コミュニティバスの利用促進については、年間利用者数は平成27年度が133,209人平成28年度が142,947人であり、前年度と比較すると、率にして約7%の増加となっており、地域にとっての必要性が確認され、公共交通不便地域の緩和のための継続的な運行という目的を達成するために必要な事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	交通バリアフリー推進事業				
担当部署	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	大竹 哲男

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成13年度	改正内容	新たなバリアフリー化の目標を設定											
(2) 直近の改正	平成22年度													
(3) 根拠法令等	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	主に吹田市バリアフリー基本構想による市内全14駅周辺の9重点整備地区内及び市民											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	高齢者、障がい者等の移動上及び施設の利用上の利便性及び安全性の向上並びに市民の高齢者、障がい者等に対する理解及び協力が得られる												
	<p>(7) 事業概要</p> <p>市内全14駅周辺9地区の基本構想に基づき実施される旅客施設、道路、信号機等の施設設置管理者等が実施する特定事業について、段階的、継続的な発展(スパイラルアップ)を図っていくため、障がい当事者や市民、施設設置管理者等で構成される吹田市バリアフリー懇談会により特定事業の進捗報告や意見交換、懇談会委員による整備後の現地点検を行っている。また、心のバリアフリーを促進するための啓発を行っている。</p>													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	08	項	02	目	05	大事業	03	中事業	03	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		180	169	167	147	7,586							
	人件費	職員数	2.00	1.50	0.50	0.50	1.00							
		総額(B)	16,704	12,059	4,085	3,950	8,052							
	総事業費(A+B)		16,884	12,228	4,252	4,097	15,638							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		16,884	12,228	4,252	4,097	15,638						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		16,884	12,228	4,252	4,097	15,638						
財源計(C+D)		16,884	12,228	4,252	4,097	15,638								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合	① 活動内容	懇談会の開催による旅客施設、道路等の施設設置管理者等による特定事業の進捗状況の確認、評価及び整備後の現地点検によるスパイラルアップ。心のバリアフリーの促進			目標	旅客施設、車両、道路等の移動等円滑化及び心のバリアフリー	
	② 成果内容	懇談会の開催により、施設設置管理者等が実施する特定事業の実施状況の把握、情報提供、委員相互による意見交換ができた。			達成状況	平成28年度は現地点検とバリアフリー懇談会を各1回開催した。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	旅客施設、車両、道路等の一体的なバリアフリー化の促進については、懇談会開催による整備状況把握と定期的な現地点検等による事後の評価(スパイラルアップ)を図ることで今後の事業にも生かされていくことから、継続的に取り組んでいくことが必要。					

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	交通バリアフリー推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01099				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務交通室	事務事業番号	01099
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>毎年開催している懇談会において、各事業者の整備状況を把握することにより、基本構想に掲げている事業の全体的な整備状況を確認している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成23年3月末に、国の移動円滑化の促進に関する基本方針の見直しを実施され、旅客施設や車両、道路等について平成32年度末を期限として、より高い水準の新たなバリアフリー化の目標が設定された。

事務事業評価調書

事務事業名	交通バリアフリー化整備補助事業				
担当部名	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	大竹 哲男

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成14年度	改正内容	新たなバリアフリー化の目標を設定											
(2) 直近の改正	平成22年度													
(3) 根拠法令等	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	旅客施設、車両等											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	移動等円滑化、利便性向上												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	高齢者、障がい者等が公共交通機関を利用して移動する際の利便性と安全性の向上が図れる												
(7) 事業概要	バリアフリー化設備を整備する公共交通事業者に対し、補助金の交付や国からの補助金交付を受けるための、吹田市バリアフリー化設備等整備事業促進協議会の開催により支援を行うことで、旅客施設や車両等の移動円滑化、利便性向上を促進していく。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	02	目	05	大事業	03	中事業	04	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,050	212	1,366	246	83,958							
	人件費	職員数	1.00	1.00	1.00	1.00	0.75							
		総額(B)	8,352	8,039	8,170	7,900	6,039							
	総事業費(A+B)		9,402	8,251	9,536	8,146	89,997							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		9,402	8,251	9,536	8,146	89,997						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		9,402	8,251	9,536	8,146	89,997								
財源計(C+D)		9,402	8,251	9,536	8,146	89,997								
(10) (該当するものは全部チェック)	実施方法		委託先		①									
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託		主な委託内容		②									
					③									
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金		交付先		① 公共交通事業者									
					②									
					③									
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目		項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)		
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(3) が困難な場合	①	活動内容	バリアフリー化設備を整備する公共交通事業者等に対する補助金の交付や国からの補助金交付を受けるための協議会の開催を行う。		目標	旅客施設や車両等のバリアフリー化を促進		
	②	成果内容	市内鉄道駅舎や車両等のバリアフリー化の促進が図られる。		達成状況	平成28年度には、国及び市からの補助金交付によりノンステップバス、バスICカードシステム導入、可動式ホーム柵設計を実施		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		市内鉄道駅舎や車両等のバリアフリー化設備を整備する公共交通事業者等に対する補助金の交付や国からの補助金交付を受けるための協議会の開催を行うことにより、旅客施設や車両等のバリアフリー化が促進され、高齢者や障がい者等が公共交通機関を利用して移動する際の利便性と安全性が向上することから、継続的に取り組んでいくことが必要である。					

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	交通バリアフリー化整備補助	事業区分	その他
事務事業番号	01100				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 c. 事業の進捗はかなり遅れている。(1点)	1	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務交通室	事務事業番号	01100
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成27年2月13日に閣議決定された、「交通政策基本計画」においてバリアフリーをより一層身近なものにするという目標において、車両のバリアフリー化の目標値(2020年度末)の設定、また旅客交通・物流のサービスレベルを更なる高みへ引き上げるという目標では、バスICカードシステムやバスロケーションシステムの導入等の目標値(2020年度末)が設定されており、必要性の高い事業である。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>持続可能性については、事業者(バス事業者や鉄軌道事業者等)が実施する事業の増減に伴い、市負担額の増減の可能性もあることから、計画的な事業実施による負担額の平準化を図る必要がある。</p> <p>また、事業者が国からの補助金交付を受ける際には、市が協議会を開催することにより生活交通改善計画を作成し、事業者が補助金交付申請時に計画書を添付することが必要である。このため市からの補助金交付の有無に係らず、協議会の開催については継続的に行う必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成23年3月末に国の移動円滑化の促進に関する基本方針の見直しが行われ、旅客施設や車両・道路等について平成32年度末を期限とした、より高水準の新たなバリアフリー化の目標が設定された。

また、平成27年2月13日に閣議決定された、「交通政策基本計画」においてバリアフリー化や公共交通の利便性の向上の新たな目標が設定された。

事務事業評価調書

事務事業名	交通事故をなくす運動事業				
担当部名	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	大竹 哲男

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和40年	改正 内容	組織改正に伴う事務局名称変更											
(2) 直近の改正	平成27年													
(3) 根拠法令等	交通安全対策基本法、「交通事故をなくす運動」大阪府実施要綱													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	全市民、市内事業所、各種団体											
	目標 (どうい状態にしたいのか)	広く市民に交通安全思想の普及を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけるとともに、関係機関とも連携して道路交通環境の改善に向けた取組みを推進することにより交通事故の絶滅を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	交通事故のない安全な社会の構築												
(7) 事業概要	①春と秋の年2回、交通安全運動の推進 ②市内の小学校・保育園・幼稚園に対する交通安全教育の実施 ③高校生、大学生、高齢者、市内事業所に対する交通安全指導の実施 ④自転車安全利用の推進 ⑤ポスター掲示やのぼり旗等による各種広報啓発活動の推進													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	02	目	05	大事業	04	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,000	1,000	1,000	1,000	1,000							
	人件費	職員数	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00							
		総額(B)	16,704	16,078	16,340	15,800	16,104							
	総事業費(A+B)		17,704	17,078	17,340	16,800	17,104							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		17,704	17,078	17,340	16,800							
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
一般財源		17,704	17,078	17,340	16,800									
財源計(C+D)		17,704	17,078	17,340	16,800	17,104								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	「交通事故をなくす運動」吹田市推進協議会										
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 交通安全教育、交通安全啓発行事	目標値	(単位:回)	131.00	133.00	130.00
			実績値	(単位:回)	133.00	140.00	
		達成度(%)				101.5	105.3
	目標値の積算方法 交通安全教育の実施回数、交通安全運動啓発行事の回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		128.41	123.86	
			一般財源(単位:千円)		128.41	123.86	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)					0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)				0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容		目標	前年と比較して交通事故の発生件数ならびに死者数を減少させる。			
	②	成果内容 交通安全教育や啓発活動により、市民の交通安全意識の向上と交通事故の未然防止が図られる。	達成状況	交通事故発生件数は前年と比較して横ばいではあるが、逆に死者数は2名減と一定の効果あり。			
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	交通事故の根絶には市役所と警察が推進の主体となり、関係機関とも連携を図りながら本事業を毎年継続して実施していくことが重要である。					

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	交通事故をなくす運動事業	事業区分	その他
事務事業番号	01101				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務交通室	事務事業番号	01101
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	近年の交通事故件数は減少傾向にあり、本事業による効果があると推測される。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	鉄道施設等耐震補強補助事業				
担当部署	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	大竹 哲男

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成26年度	改正内容	なし					
(2) 直近の改正	なし							
(3) 根拠法令等	特定鉄道等施設等に係る耐震補強に関する省令							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章 06	安全で魅力的なまちづくり	節 02	細節 30				
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
	範囲等	鉄道及び軌道事業者						
	目標(どういう状態にしたいのか)	大規模地震(震度6強から7程度)発生時や発生後に、輸送機能を早期に回復させるため、構造物の被害を軽微な損傷に留める。						
結果(どのような効果が得られるのか)	鉄道等利用者の安全が確保され、また緊急輸送道路である新御堂筋線への鉄道高架橋の損傷による被害を最小限にし、道路の機能を確保・早期復旧に寄与する。							
(7) 事業概要	鉄道等事業者が実施する特定鉄道等施設(橋梁、トンネル等)の耐震補強事業に対して補助金を交付することにより、発生が切迫しその影響も大きいとされている首都直下型地震、南海トラフ地震で大きな揺れが想定される本市において、鉄道等利用者の安全が確保され、また緊急輸送道路である新御堂筋線への鉄道高架橋の損傷による被害を最小限にし、道路の機能を確保・早期復旧に寄与する。							
(8) H28事業別予算コード	会計 01	款 08	項 02	目 05	大事業 03	中事業 05	小事業 01	
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		33,480	25,253	26,250	21,258	17,100	
	人件費	職員数	人	0.25	0.25	1.00	1.00	0.50
		総額(B)	千円	2,088	2,010	8,170	7,900	4,026
	総事業費(A+B)		35,568	27,263	34,420	29,158	21,126	
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0
		国		0	0	0	0	0
		府		0	0	0	0	0
	その他		0	0	0	0	0	
	(内訳)	市負担(D)		35,568	27,263	34,420	29,158	21,126
		地方債		0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		35,568	27,263	34,420	29,158	21,126		
財源計(C+D)		35,568	27,263	34,420	29,158	21,126		
(10) 実施方法(該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
			②					
			③					
	主な委託内容							
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	鉄道及び軌道事業者				
②								
③								
<input type="checkbox"/> その他		内容						

2 評価の指標等

指標項目		項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が指標で難示合す		①	活動内容	特定鉄道等施設(橋梁、トンネル等)を耐震補強する鉄道等事業者に対する補助金の交付を行う。		目標	特定鉄道等施設(橋梁、トンネル等)の耐震化を促進
	②			成果内容	特定鉄道等施設(橋梁、トンネル等)の耐震化を図られる		達成状況
		(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明		鉄道等事業者が実施する特定鉄道等施設(橋梁、トンネル等)の耐震補強事業は、発生が切迫する南海トラフ地震で大きな揺れが想定される本市において、鉄道等利用者の安全が確保され、また緊急輸送道路である新御堂筋線への鉄道高架橋の損傷による被害を最小限にし、道路の機能を確保・早期復旧に寄与することから、継続的に取り組んでいくことが必要。				

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	鉄道施設等耐震補強事業費補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	01102				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務交通室	事務事業番号	01102
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

当該事業は、国と地方(大阪府及び吹田市)による協調補助であることから、事業の必要性は極めて高い。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>安全なまちづくりの観点から、必要性が高い。国が、「特定鉄道等施設に係る耐震補強に関する指針」により、事業の完了目標を平成29年度としているが、国と地方の協調補助であることから、今後とも、国等の動向を注視し、引き続き協調を図っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成25年4月1日施行の「特定鉄道施設等施設に係る耐震補強に関する省令」により、その発生が逼迫する首都直下型地震及び南海トラフ地震に対する安全性を向上させるため、鉄道事業者に耐震対策の努力義務が課せられた。
 本市は、当地震により震度6強が想定されている地域に指定されていることから、緊急輸送道路である国道423号(新御堂筋線)への鉄道高架橋の損傷による被害を最小限にし、道路の機能確保、早期復旧に寄与することが不可欠であります。
 また大阪府においては、緊急輸送道路である国道423号線は、府下においても重要な緊急輸送道路と位置付けており、御堂筋線及び北大阪急行南北線の耐震補強は、重要度の高い事業と認識している。

事務事業評価調書

事務事業名	千里山駅前自転車駐車場整備事業				
担当部名	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	大竹 哲男

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成21年度	改正 内容												
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	自転車等の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律、自転車駐車場条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	40							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	阪急千里山駅周辺											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	駅周辺の自転車等利用者の駐車場確保及び自転車等の放置防止												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	駅周辺の良好な交通環境												
(7) 事業概要	<p>阪急千里山駅周辺において、都市再生機構の直接施行制度により平成21年度に自転車駐車場整備事業に着手し、平成25年7月から供用開始している。平成27年度から平成41年度まで都市再生機構へ自転車駐車場整備にかかる長期割賦分に関する経費の返済が残っている。</p>													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	05	目	15	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		316	190	190	190	2,538							
	人件費	職員数	人	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25						
		総額(B)	千円	2,088	2,010	2,043	1,976	2,013						
	総事業費(A+B)		2,404	2,200	2,233	2,166	4,551							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		2,404	2,200	2,233	2,166	4,551						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		2,404	2,200	2,233	2,166	4,551								
財源計(C+D)		2,404	2,200	2,233	2,166	4,551								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	独立行政法人 都市再生機構 西日本支社										
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(3) が困難な場合	①	活動内容	阪急千里山駅東側に都市再生機構の直接施行制度により自転車駐車場の整備を行う		目標	駅周辺の自転車等利用者の駐車場確保及び自転車等の放置防止		
	②	成果内容	駅周辺の良好な交通環境の確保		達成状況	平成25年7月阪急千里山駅前東自転車駐車場供用開始		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		当事業により自転車駐車場は完成し平成25年7月より供用開始しているが、都市再生機構の直接施行制度によるため、都市再生機構への長期割賦分の返済が平成27年度から平成41年度まで残る					

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	千里山駅前自転車駐車場整備事業	事業区分	その他
事務事業番号	01453				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務交通室	事務事業番号	01453
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (0-20)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (0-20)	妥当性	18	有効性	15	効率性	12	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (0-20)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	12														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>阪急千里山駅周辺において、平成21年度から都市再生機構の直接施行制度により自転車駐車場の整備を進め、平成25年度に完成しましたが、都市再生機構への長期割賦分の返済を平成27年度から行っており、平成41年度まで残っています。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	保管所再編事業				
担当部名	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	大竹 哲男

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	H28	改正内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	なし													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田、春日、江坂、岸部の自転車等保管所												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	4つの保管所を3つに再編する												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	土地の有効利用													
(7)	事業概要	現在吹田市では、吹田、江坂、春日、岸部の4保管所において移送された自転車等の保管及び返還をおこなっているが、片山町1丁目のJR貨物所有地に新たに(仮称)片山保管所を整備した後、吹田保管所を撤去し、最終的には江坂、春日、片山の3保管所に再編する。岸部保管所については、平成28年度末をもって閉鎖している。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	02	目	05	大事業	05	中事業	01	小事業	02
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		0	0	2,222	1,755	62,228							
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.75	0.75	0.75						
			総額(B)	千円	0	0	6,128	5,926	6,039						
		総事業費(A+B)		0	0	8,350	7,681	68,267							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		0	0	8,350	7,681	68,267							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			0	0	8,350	7,681	68,267								
財源計(C+D)		0	0	8,350	7,681	68,267									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	(仮称)片山保管所を新設し、吹田保管所を撤去する			目標	保管所を再編することにより生み出された土地を有効利用できる
	②	成果内容	(仮称)片山保管所建設工事に係る設計業務			達成状況	平成28年度は(仮称)片山保管所建設工事に係る設計業務を完了した
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		4か所ある保管所を3か所に統合することにより、土地の有効利用ができる。				

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	保管所再編事業	事業区分	その他
事務事業番号	01620				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	12	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	総務交通室	事務事業番号	01620
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>Detailed description of the radar chart: The chart has five axes representing different evaluation criteria. The outermost ring represents a score of 20, with intermediate rings at 15, 10, 5, and 0. The data points are: 妥当性 (Justification) at 15, 有効性 (Effectiveness) at 10, 効率性 (Efficiency) at 5, 公平性 (Fairness) at 5, and 持続可能性 (Sustainability) at 10.</p>		
(3)現状分析	<p>保管所を再編し、吹田保管所を閉鎖、撤去した後、有効的な土地利用が可能になる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	江坂公園駐車場跡地管理事業				
担当部名	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	大竹 哲男

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成28年度	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	なし							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章 06	安全で魅力的なまちづくり	節 02	細節 30				
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
		範囲等	江坂公園駐車場跡地						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	江坂公園駐車場跡地の適正な管理						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	江坂公園駐車場跡地の適正な管理							
(7)	事業概要	江坂公園駐車場跡地の管理							
(8)	H28事業別 予算コード	会計 01	款 08	項 02	目 01	大事業 05	中事業 01	小事業 01	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	1,672	1,510	1,116	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.50	0.50	0.50
			総額(B)	千円	0	0	4,086	3,950	4,026
		総事業費(A+B)		0	0	5,758	5,460	5,142	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	5,758	5,460	5,142	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	5,758	5,460	5,142		
財源計(C+D)		0	0	5,758	5,460	5,142			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	関西消防(株)				
				②	日本電検(株)				
				③	(株)ビケンテクノ				
		主な委託内容		消防用設備保守点検業務ほか					
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合	①	活動内容	江坂公園駐車場跡地の管理			目標	江坂公園駐車場跡地の適正な管理	
	②	成果内容	江坂公園駐車場跡地を適正に管理する			達成状況	上記の目標はおおむね達成できているものと考え	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		江坂公園駐車場を平成28年3月31日で廃止したため、駐車場跡地を管理するために本事業を実施している。駐車場跡地の活用策については、今後の検討課題である。					

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	江坂公園駐車場跡地管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01621				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	12	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	総務交通室	事務事業番号	01621
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成28年3月31日で江坂公園駐車場を廃止したため、駐車場跡地を適正に管理する必要がある。
 駐車場跡地の活用策については今後の検討課題である。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	5	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	5														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析															

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	(仮称)岸辺駅前北地下自転車駐車場整備事業				
担当部名	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	大竹 哲男

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	H28	改正内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	なし													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	40							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	岸辺駅周辺地域及び駅利用者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	自転車駐車場の整備												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	自転車駐車場の確保													
(7)	事業概要	岸辺駅北側では、自転車駐車場が不足しており、また北側仮設自転車駐車場の借地期限が平成29年度末であるため、期限までに自転車駐車場を整備する。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	05	目	15	大事業	01	中事業	02	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		0	0	4,054	2,841	43,235							
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.75	0.75	0.75						
			総額(B)	千円	0	0	6,128	5,926	6,039						
		総事業費(A+B)		0	0	10,182	8,767	49,274							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		0	0	10,182	8,767	49,274							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			0	0	10,182	8,767	49,274								
財源計(C+D)		0	0	10,182	8,767	49,274									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	岸辺駅前地下道に自転車駐車を整備する			目標	自転車駐車の整備	
	②	成果内容	岸辺駅前北地下自転車駐車場整備工事に係る設計業務			達成状況	平成28年度は、岸辺駅前北地下自転車駐車場整備工事設計業務を完了した	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		岸辺駅北側では自転車駐車場が不足しており、また北側の仮設自転車駐車場の借地期限が平成29年度末であるため、期限までに自転車駐車場を整備する。					

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	(仮称) 岸辺駅前北地下自転車駐車場整備事業	事業区分	その他
事務事業番号	01622				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	12	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	総務交通室	事務事業番号	01622
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>岸辺駅北側では、自転車駐車が不足しており事業の必要性は高い。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)